

日本語学習支援の
ボランティア養成

伊勢で講座

伊勢市岩渕一、いせ市民活動センターで十七日、日本語学習支援ボランティア養成講座が始まった。十八日もある。

講座は同市国際交流協会が年一回開催し、今回は鳥羽、志摩の国際交流協会の合同で実施した。同ボランティアは、外国人に対し母国語を介さず、日本語で日本語を指導する取り組み。伊勢では「いせ日本語教室」を週二回開催し、二〇一七年度は米国やベトナム、ブラジル、中国などの約七十人に教え



伊勢市岩渕1で参加者ら学ぶについて発音など

ている。ボランティア

の技術向上や増員を目的として講座を開き、約三十人が参加し教授が「学習者の日本

語をテーマに話し込んで教える必要性。韓国人は「さ行、イ」を説いたほか、相手の必要とする日本語の範囲などに寄り添うよう求めている。

この日は鈴鹿大国際人間科学部の舟橋宏代

(西山和宏)